

## 第2回

首都高速の再生に関する有識者会議

現地視察資料

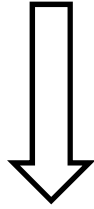
平成24年5月9日

## 現地視察スケジュール(予定)

10:00

国土交通省発

(10分)



10:10

大橋ジャンクション着

大橋ジャンクション 換気所屋上、トンネル視察

(55分)

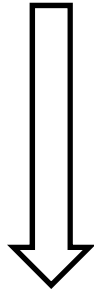
<説明内容>

- ・大橋JCT構造、都市再開発との連携
- ・品川線シールドトンネル工事

11:05

大橋ジャンクション発

(40分)



<説明内容>

- ・三軒茶屋付近の橋梁損傷補修
- ・山手トンネル防災設備、換気所
- ・築地川掘割部の線形、構造

11:45

築地川着

築地川京橋出入口付近視察

(10分)

<説明内容>

- ・築地川周辺の地域状況

11:55

築地川発

(5分)



12:00

日本橋 通過

<説明内容>

- ・日本橋上の首都高速の整備状況

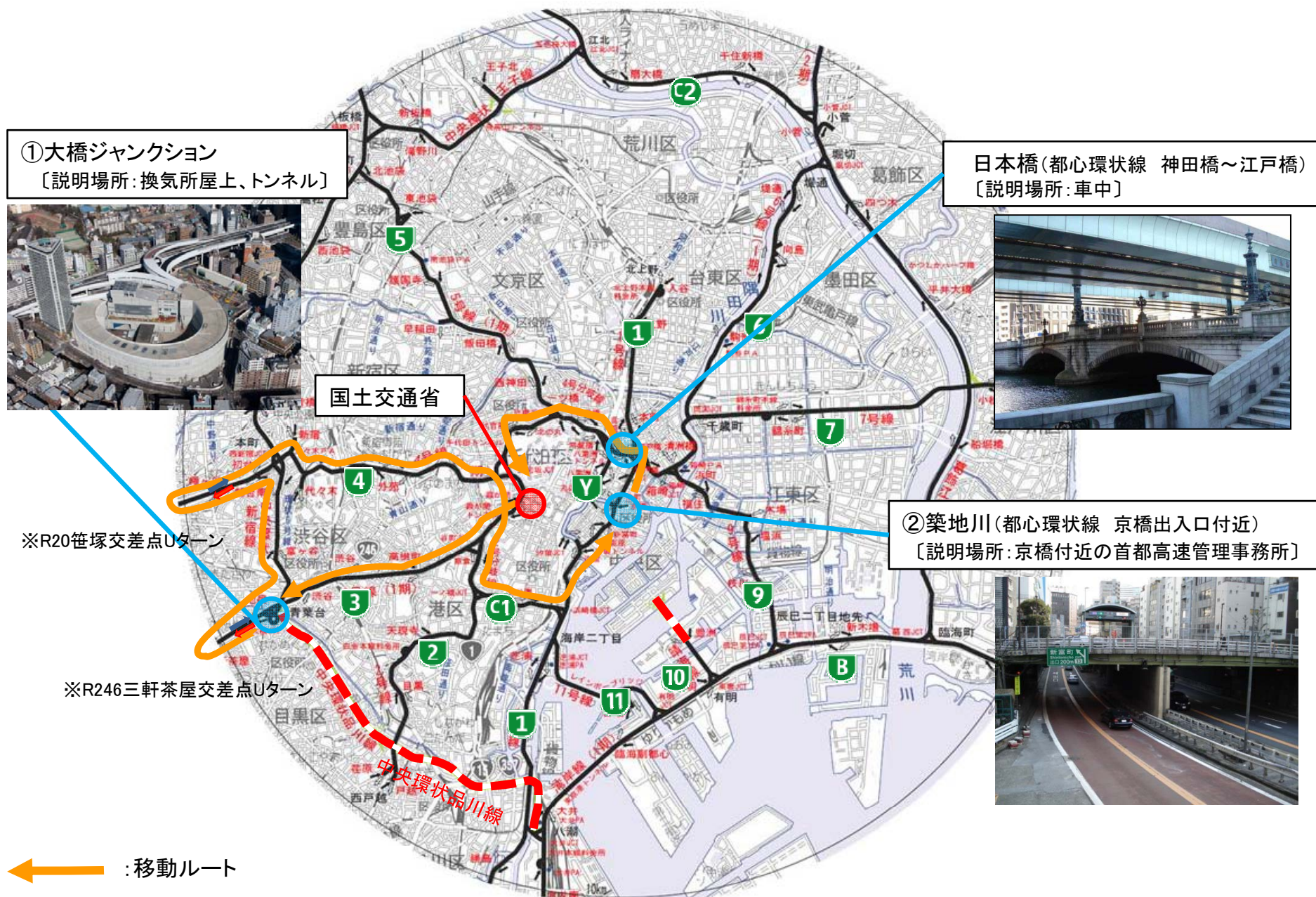
(10分)



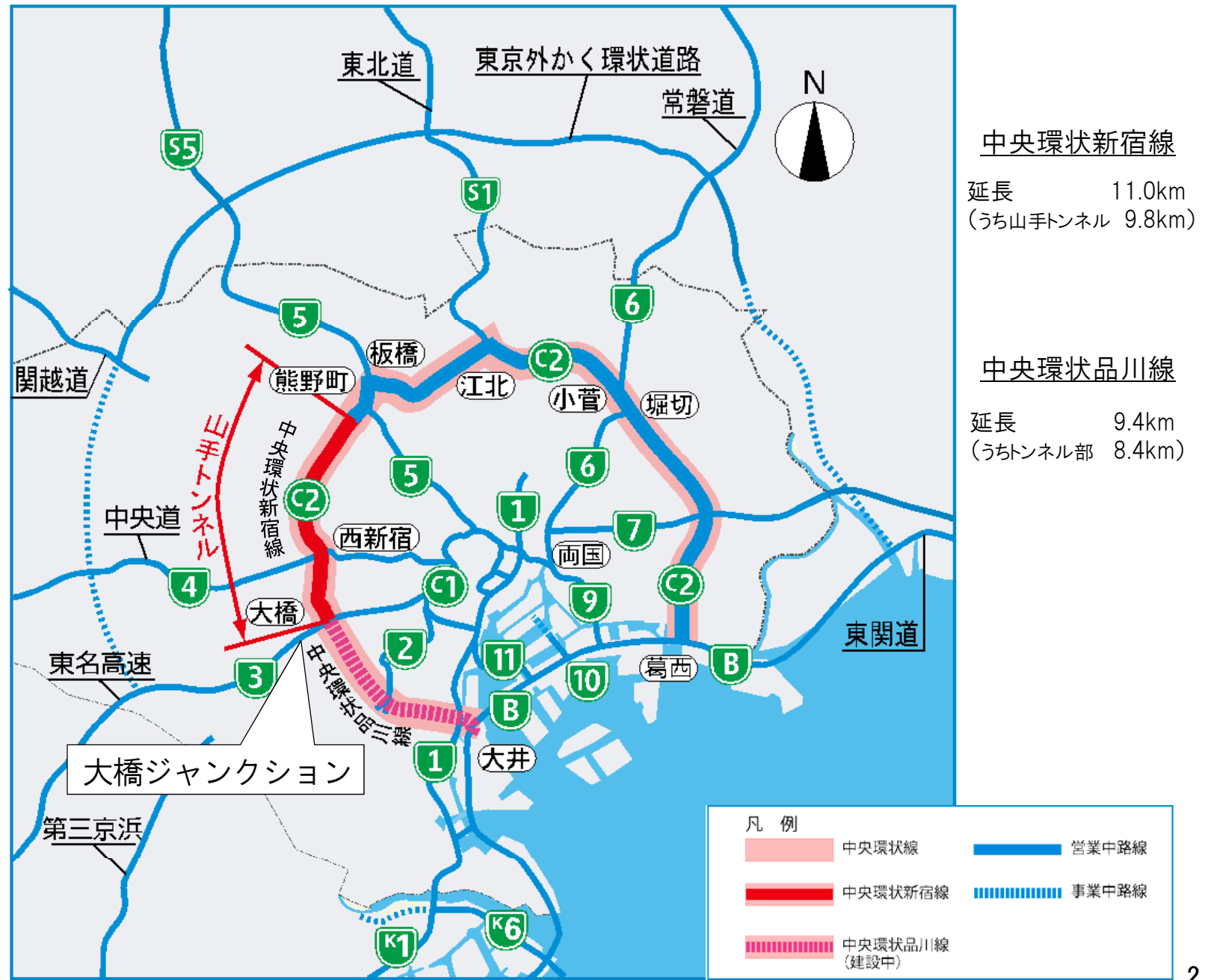
12:10

国土交通省着

# 首都高速の再生に関する有識者会議 現地視察行程



# 首都圏の高速道路ネットワーク

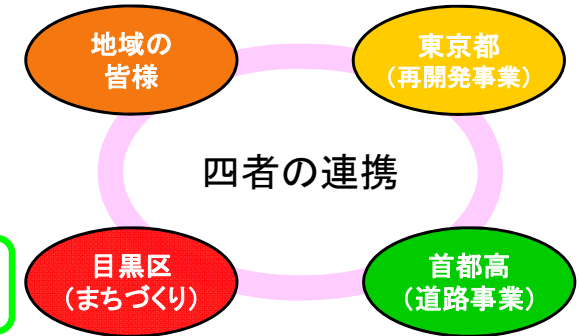




# まちづくりと一体化した大橋ジャンクション

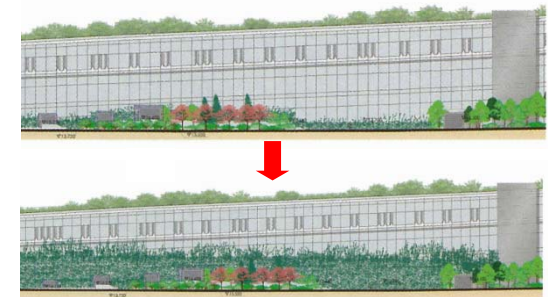


## ■道路事業協働型再開発事業



再開発区域 約38,000m<sup>2</sup>

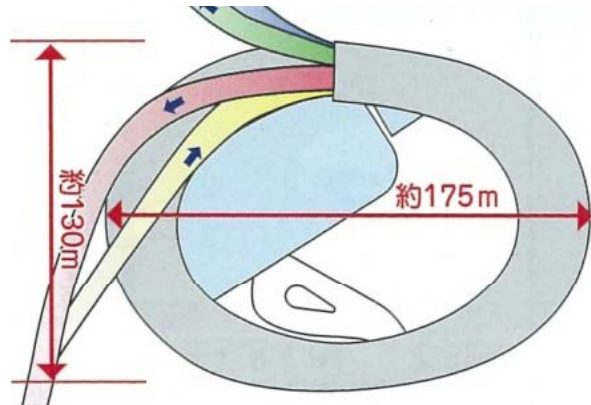
ループ壁面緑化イメージ



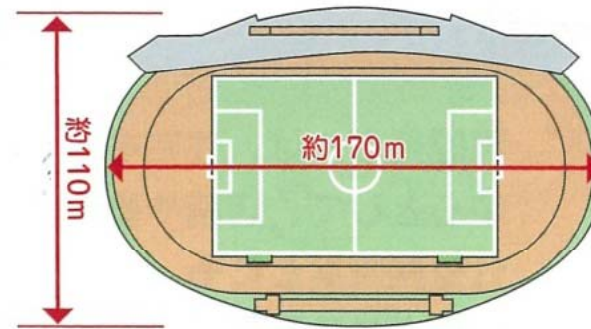
概ね30～50年後

# 大橋ジャンクションの大きさ

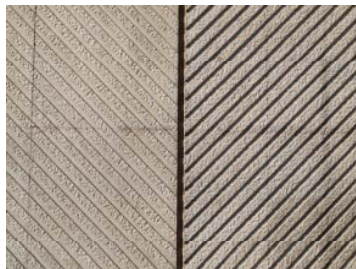
【大橋ジャンクション】



【国立競技場】



スリット

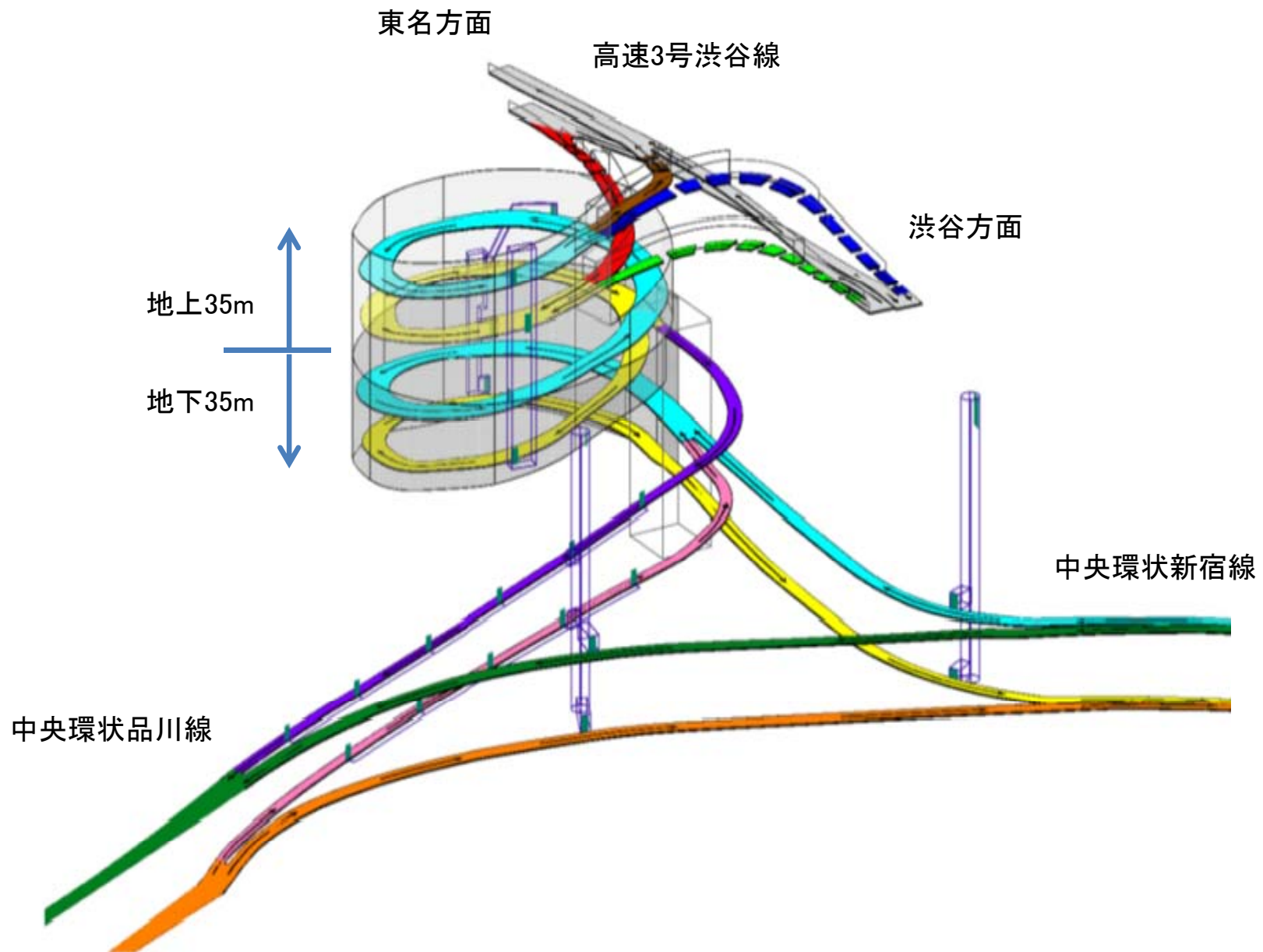


擬似窓





# 大橋ジャンクションの構造



# 大橋地区再開発事業について

再開発前写真



再開発イメージ



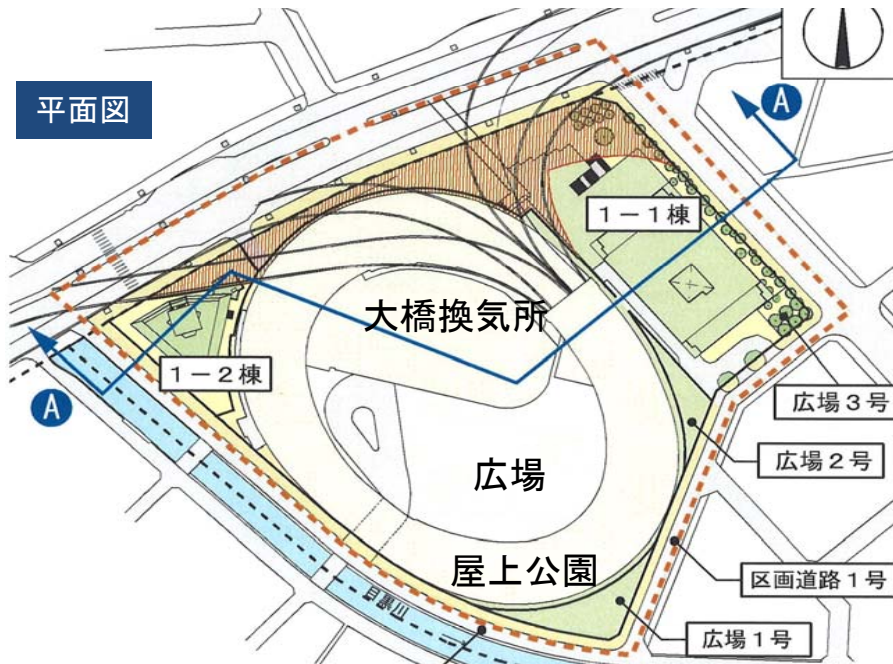
## 1-1棟(クロスエアタワー)の概要

階数	地上42階/地下2階
高さ	約155m
敷地面積	約7,200㎡
建築面積	約3,790㎡(建ぺい率約50%)
延べ面積	約83,590㎡(容積率約800%)
住宅戸数	約690戸

## 1-2棟(プリズムタワー)の概要

階数	地上27階/地下2階
高さ	約100m
敷地面積	約1,720㎡
建築面積	約850㎡(建ぺい率約50%)
延べ面積	約18,380㎡(容積率約800%)
住宅戸数	約210戸

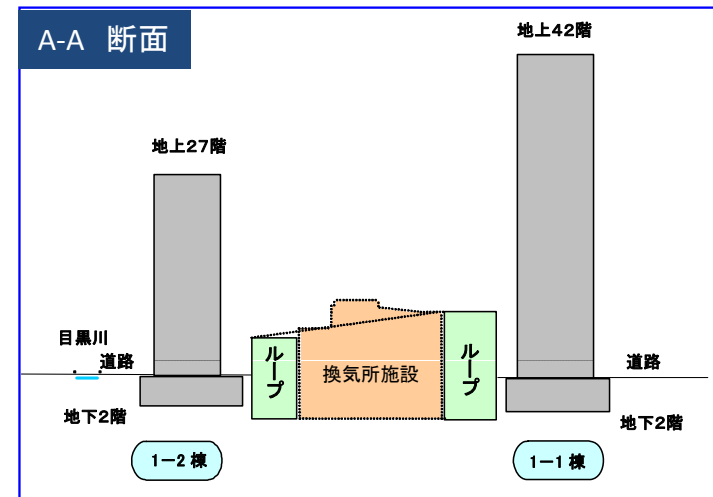
平面図



凡例

- 市街地再開発事業の区域
- 町丁境
- ▨ 重複利用区域

A-A 断面





# 大橋自然再生緑地「おおはし里の杜」

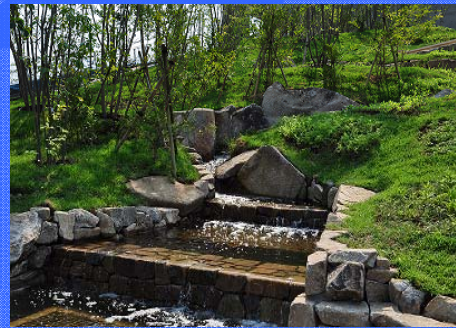
斜面林を再現



草地を再現



小川の流れや池を再現



田んぼを再現



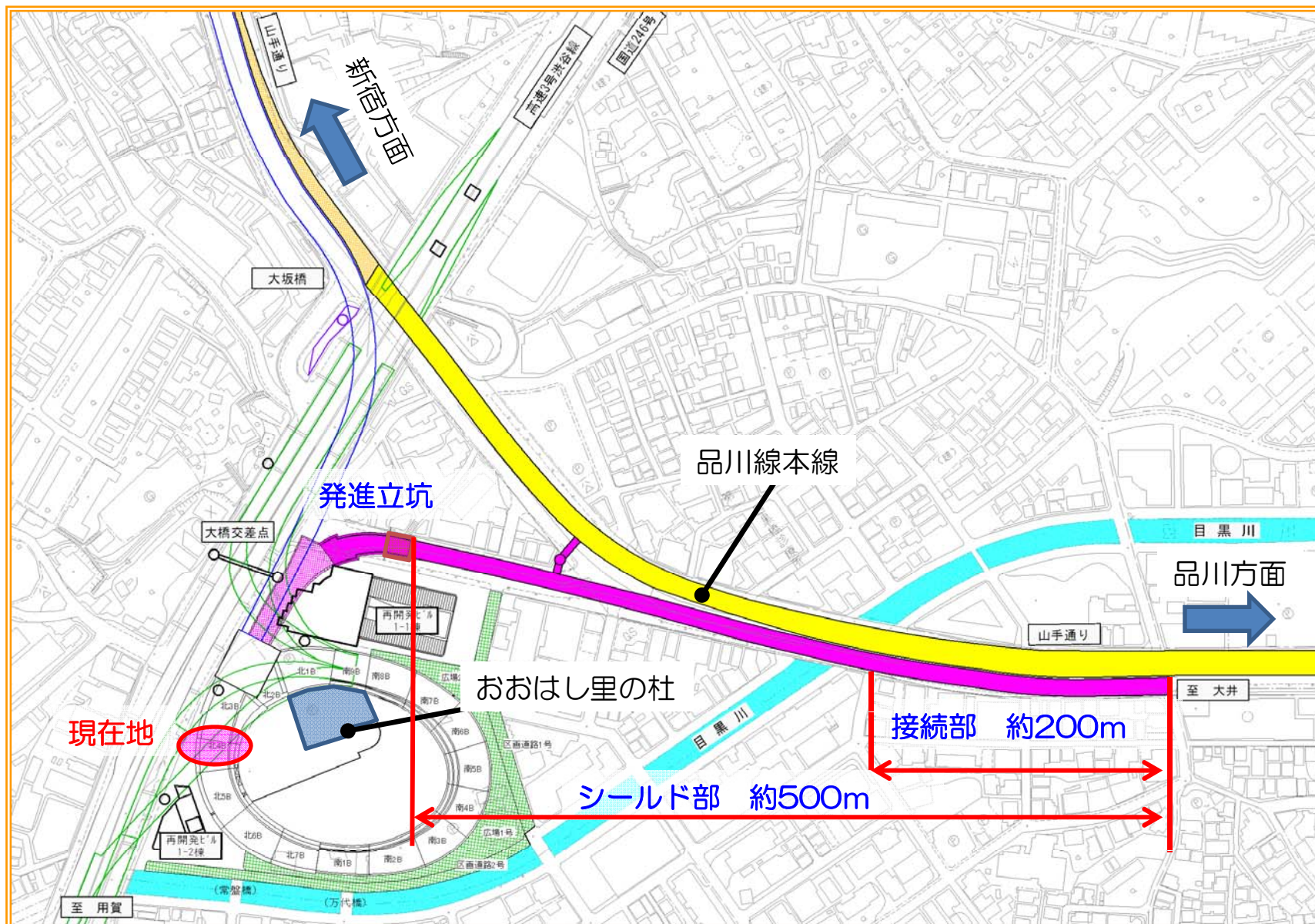
田んぼを再現



昭和初期の目黒付近の里の風景（斜面林や小川、池、田んぼ）を再現。  
約1,100㎡のその面積のうち、2面ある田んぼは約100㎡。  
米俵1俵のお米が収穫できるくらいの広さ。  
地元小学生による田植え、稲刈り、脱穀などの稲作体験を実施。



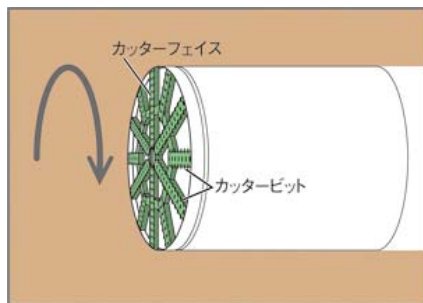
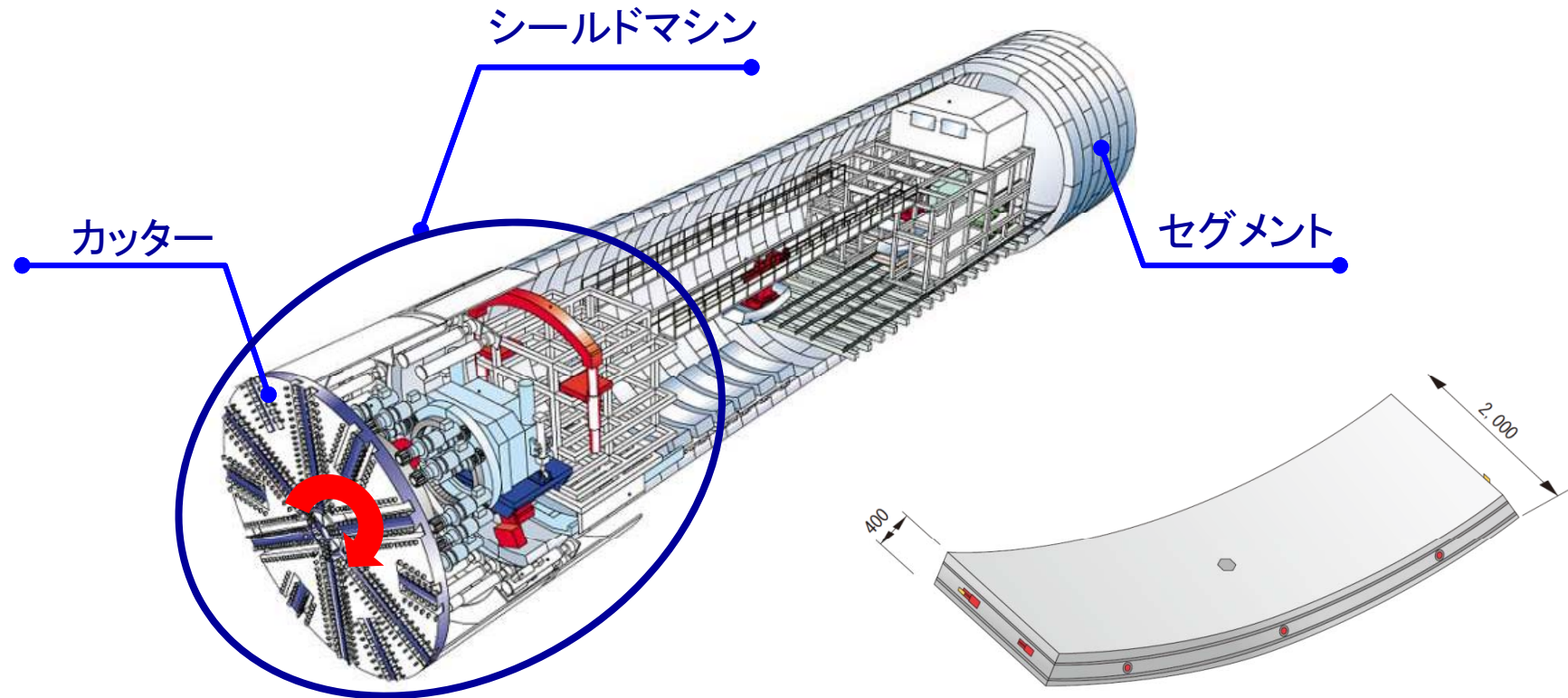
## トンネル現場視察箇所位置図



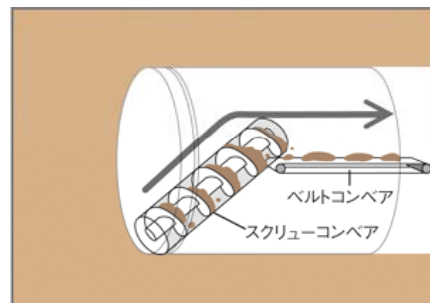




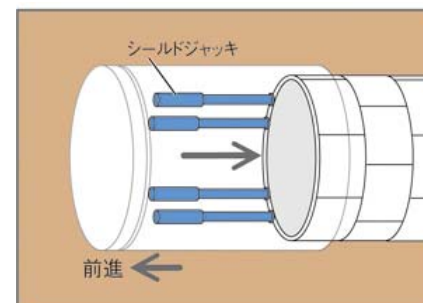
# シールド工法について



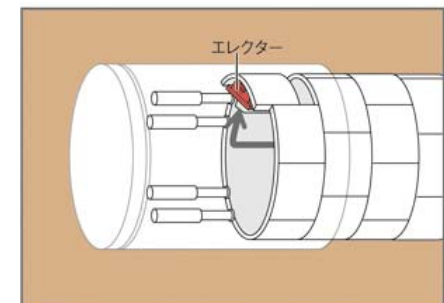
掘削



土砂排出

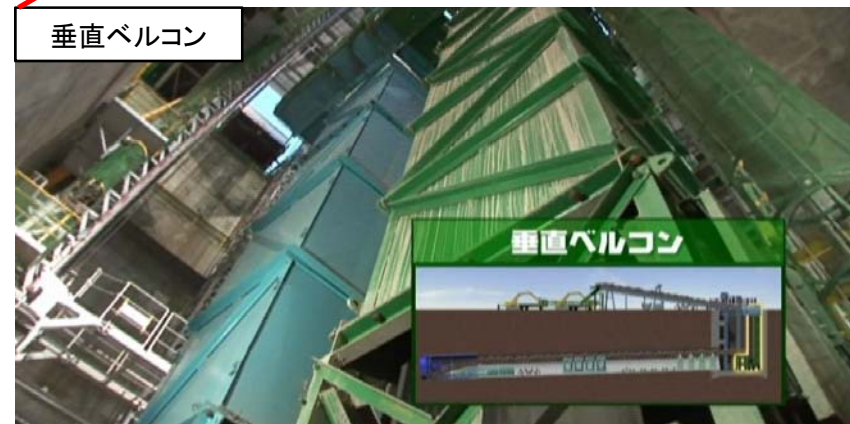
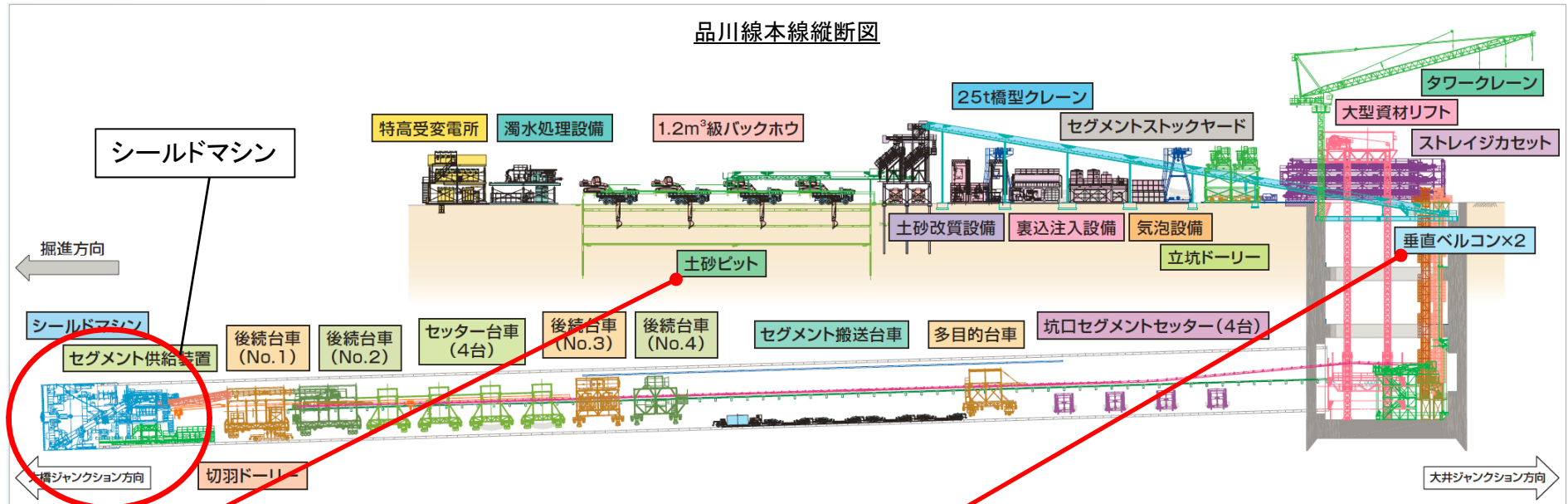


マシン前進



セグメント組立

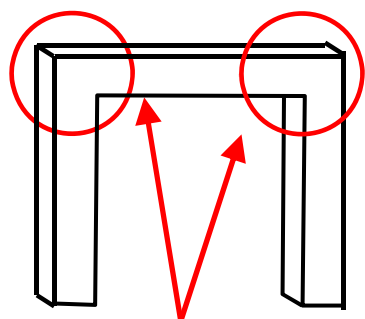
# トンネル現場施設







### 3号渋谷線(三軒茶屋付近)損傷補修(鋼製橋脚隅角部疲労対策)



隅角部

(柱と梁の交差部)



A 池尻ランプ付近



大橋ジャンクション

首都高  
池尻入口

A

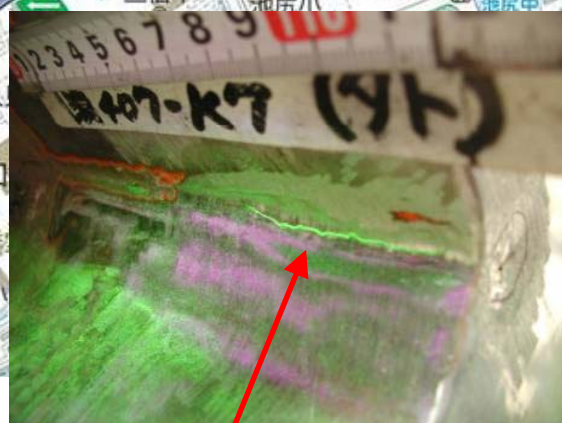
柱と梁の交差部(隅角部)において大型車交通量の増加により大きな力が作用し亀裂が発生



首都高  
三軒茶屋入口

首都高  
三軒茶屋出口

三軒茶屋駅

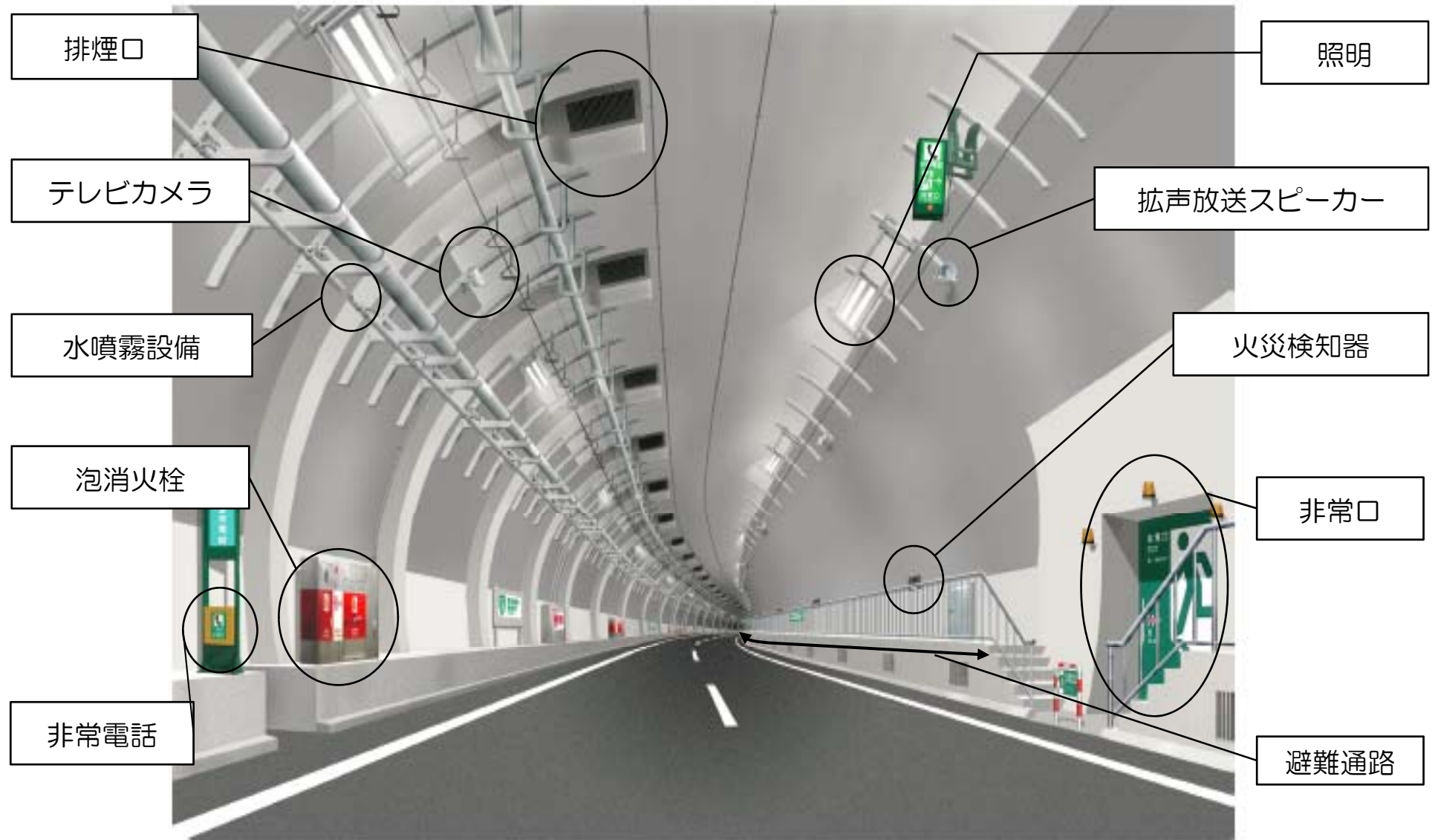


疲労亀裂



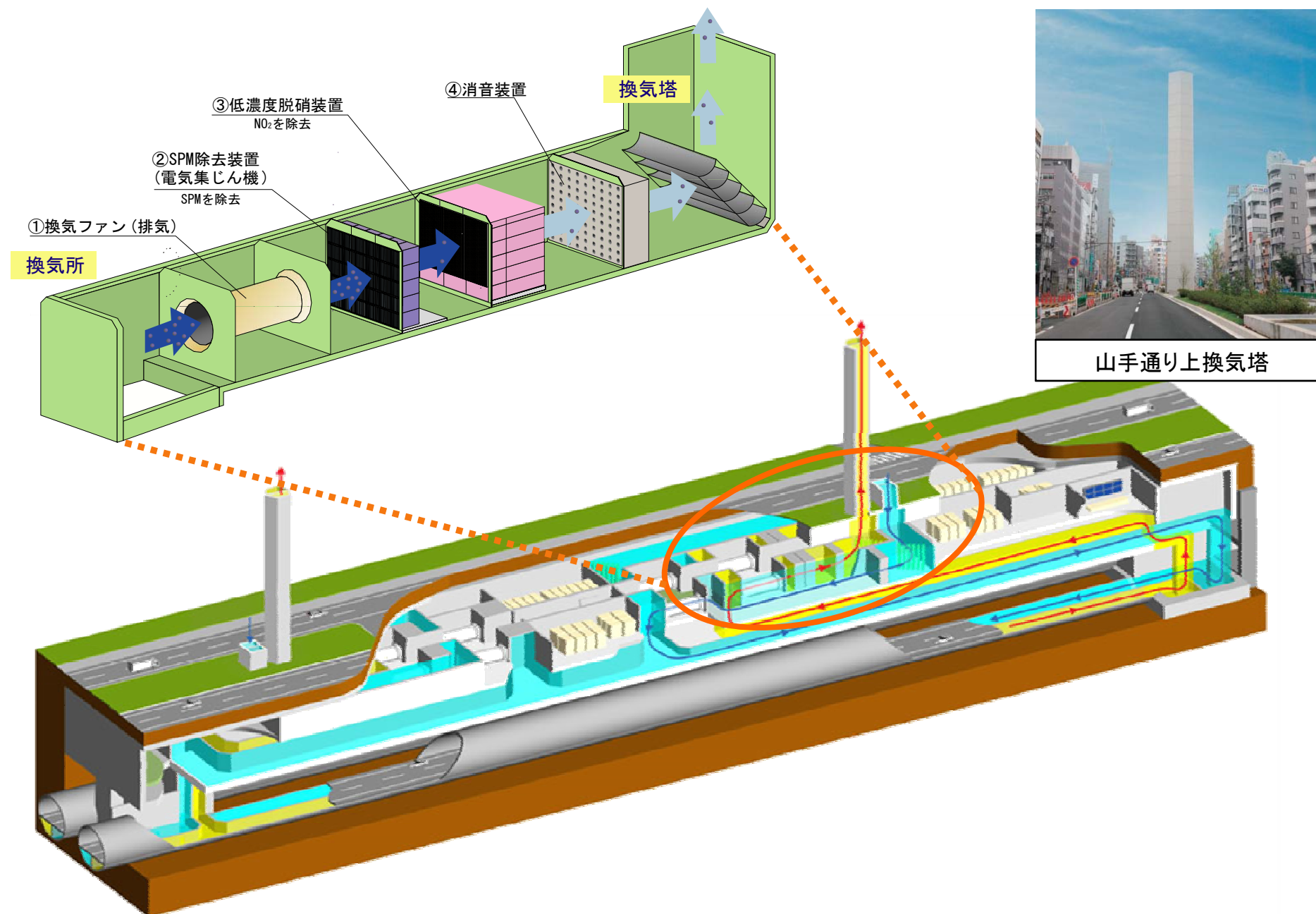
あて板による補修

# トンネル防災設備





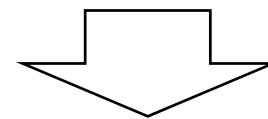
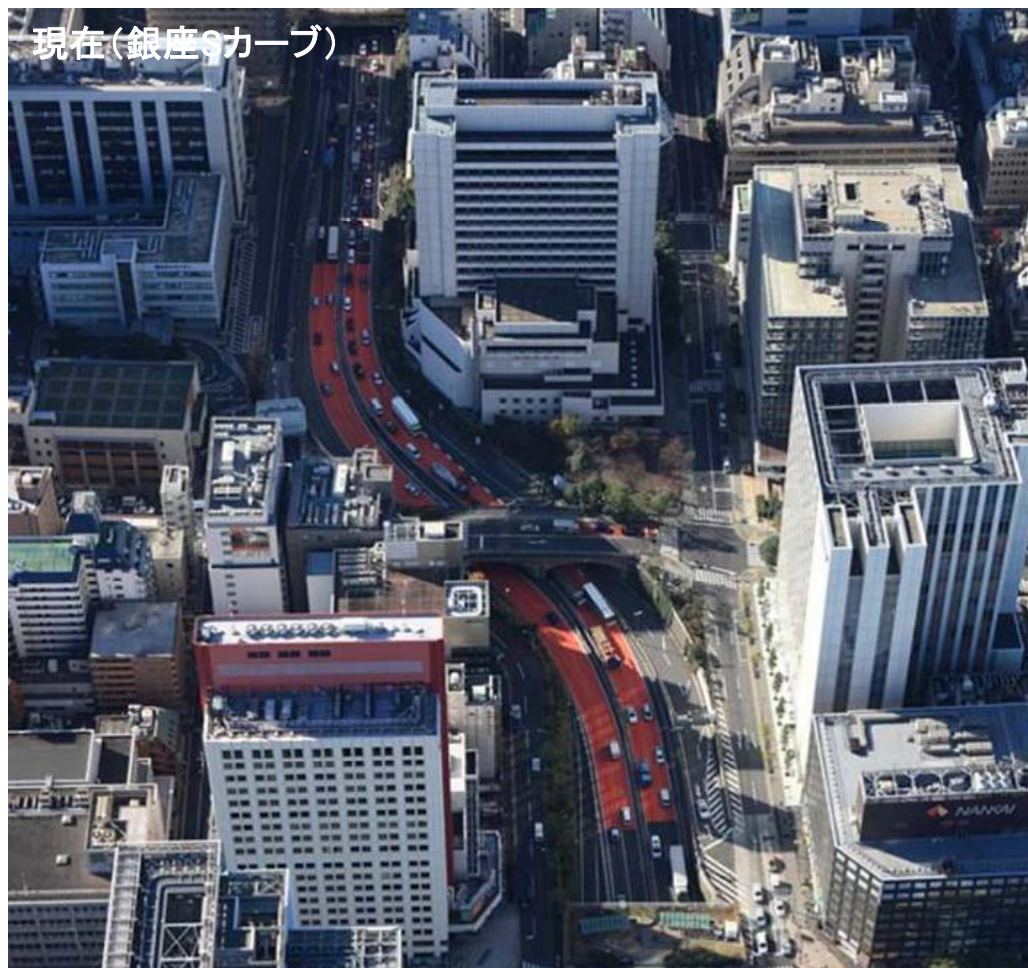
## 換気所の機能





## 都心環状線(築地川掘割部・銀座付近)

○築地川を干拓して川底に高速道路を築造している。

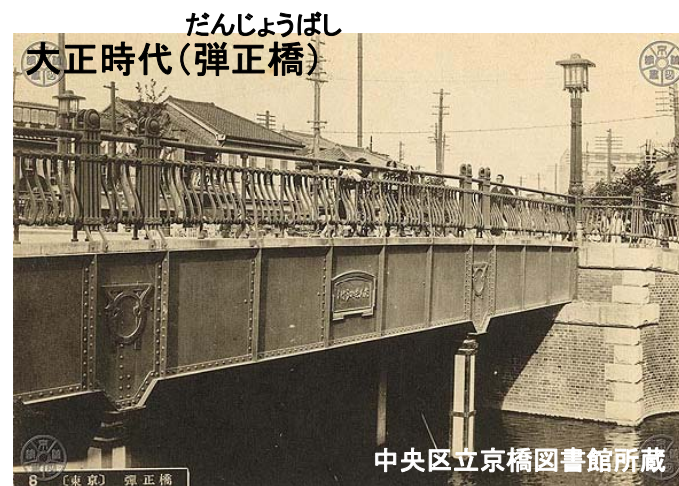
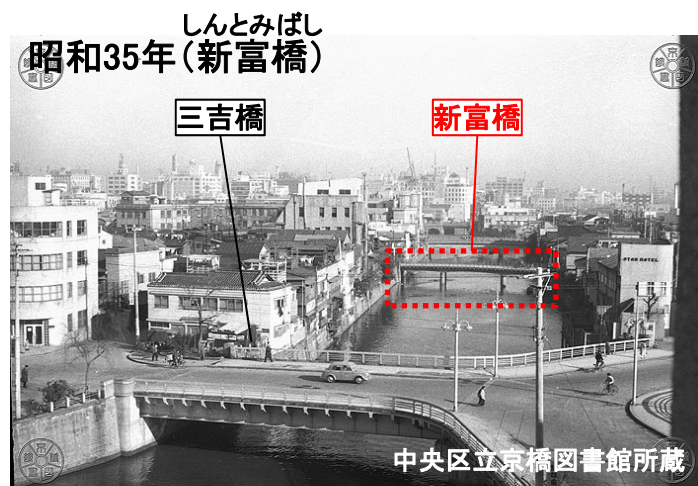




## 都心環状線(築地川掘割部・京橋付近)

○築地川を干拓して川底に高速道路を築造している。

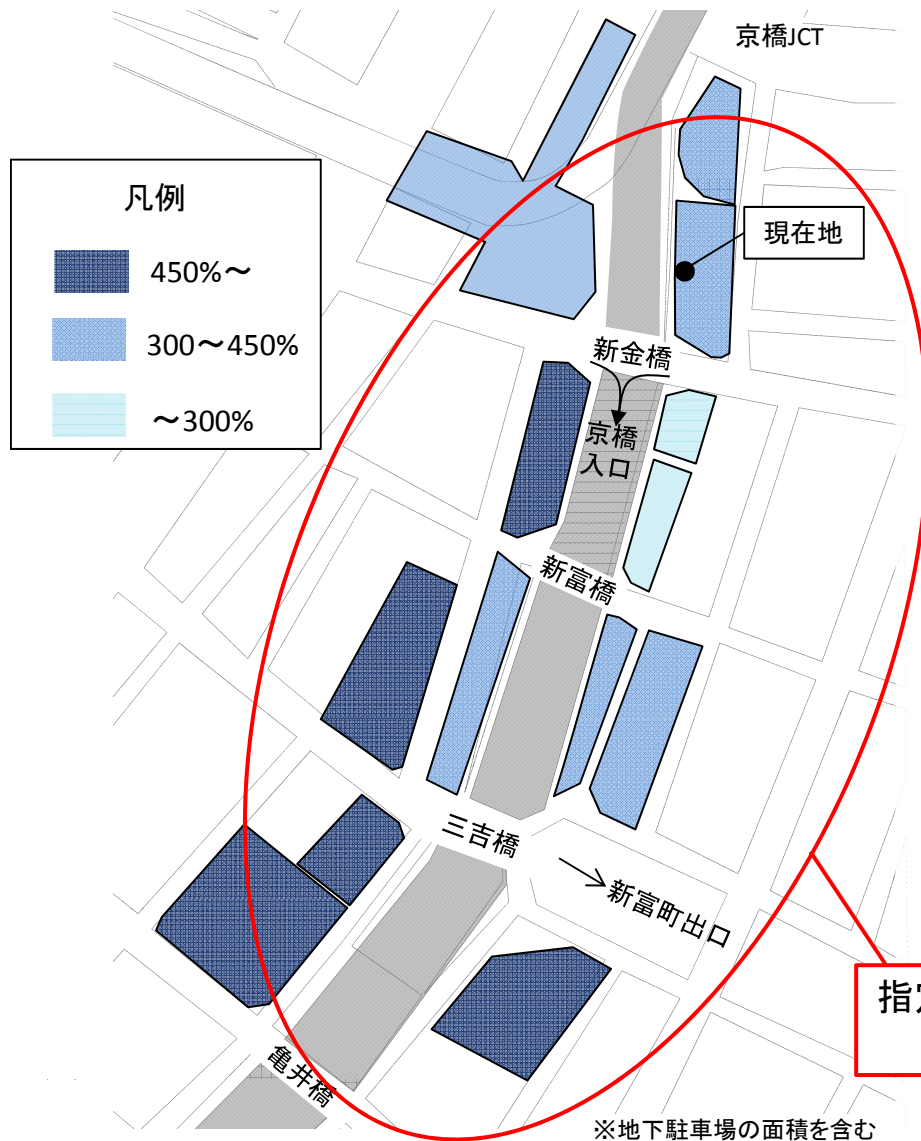
### <築地川周辺図>



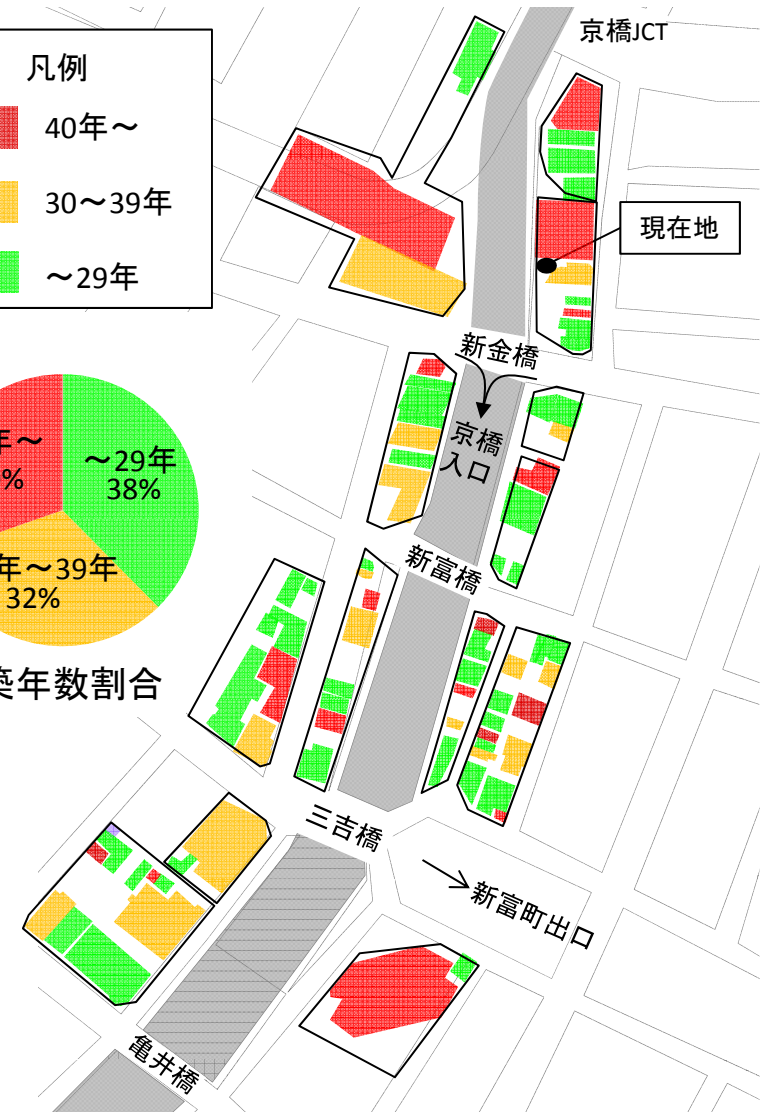
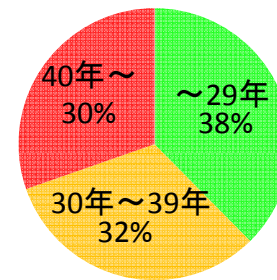
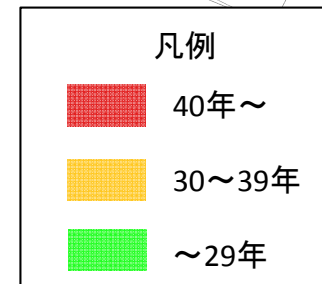
# 築地川周辺の容積率・築年数・用途地域

## 実質容積率

## 築年数



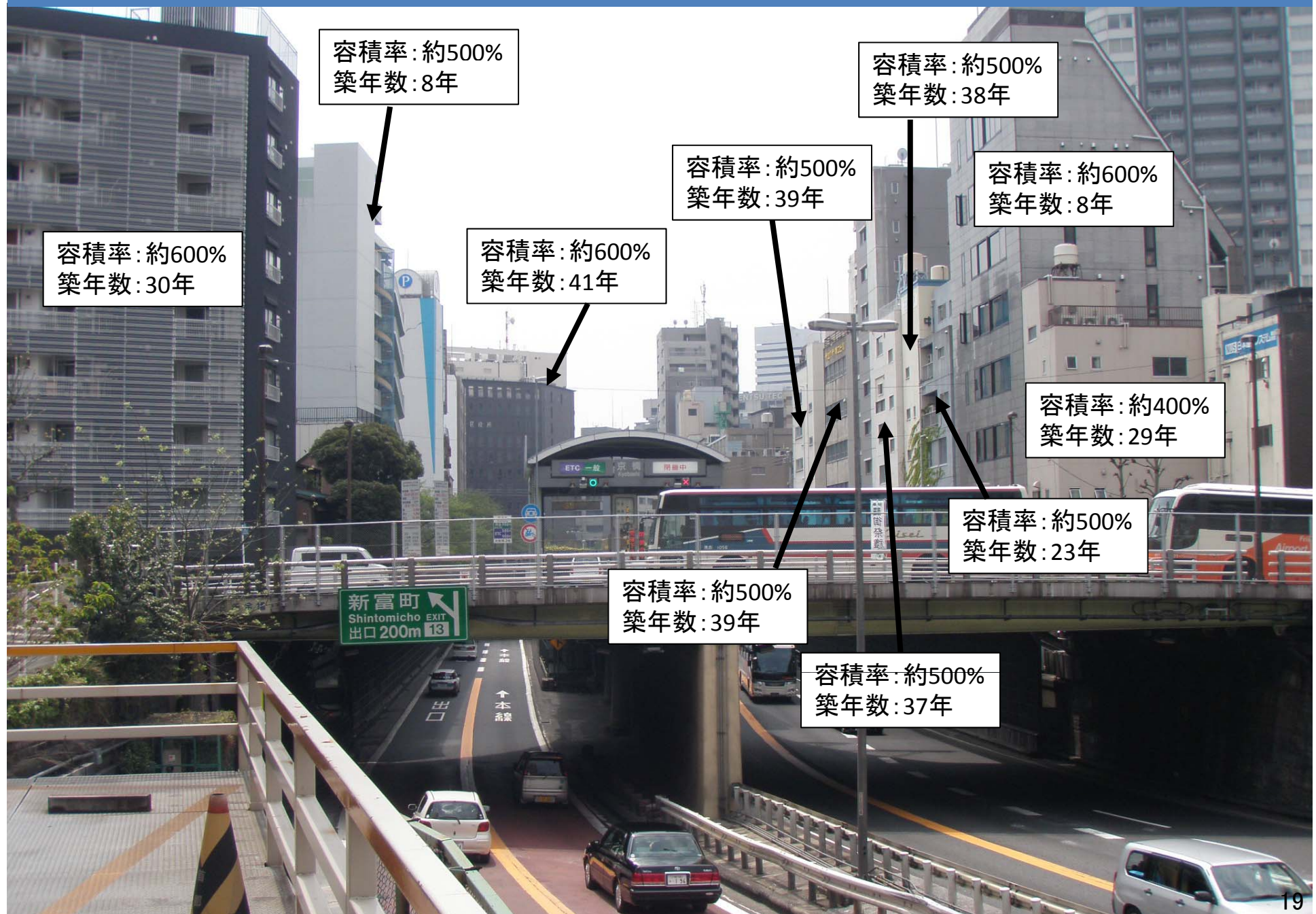
用途地域: 商業地域



出典: 不動産登記簿より  
 ※国土地理院の電子国土Webシステムから配信された地図データに加筆  
 ※平成23年3月時点



## 築地川周辺の容積率・築年数





# 首都高速の用地区分について

○首都高速の用地は、①所有権を有する土地、②地上権を有する土地、③道路・河川・公園等を使用、に区分される。

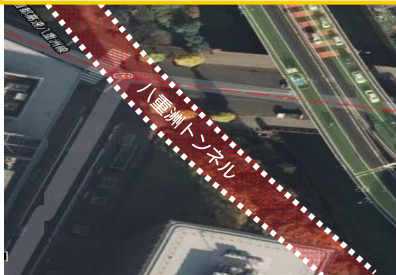
【参考事例(所有権)】

A: 銀座出入口付近



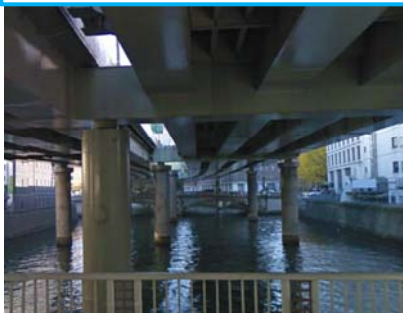
【参考事例(地上権)】

B: 八重洲線常盤橋付近



【参考事例(道路・河川・公園等を使用)】

C: 都心環状線 日本橋川

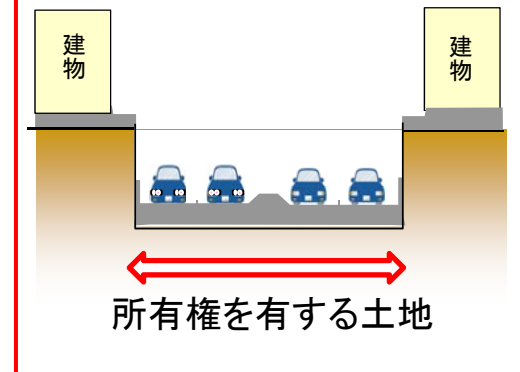


## 都心環状線周辺の用地区分



## ■築地川掘割り部

○築地川を埋め立てた土地については、①所有権を有する土地に該当



## <首都高速の用地区分割合>

東京線全体	① 所有権を有する土地	② 地上権を有する土地	③ 道路・河川・公園等の使用
100%	16%	11%	73%



## 都心環状線(弾正橋付近)

だんじょうばし

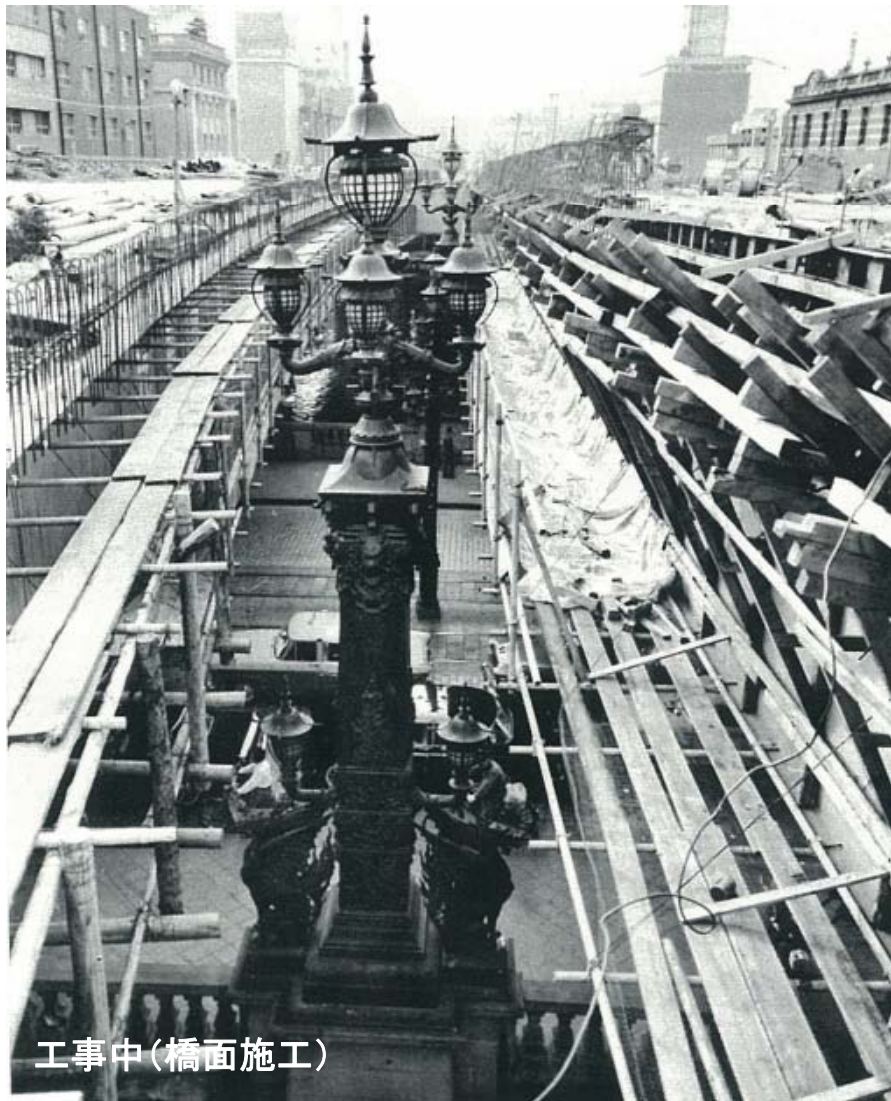
○弾正橋の橋脚が車線上に残る。



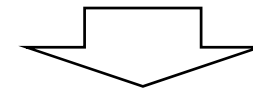


## 都心環状線(日本橋)

○出入口(江戸橋・呉服橋)設置のために道路の計画高を抑える必要があり、上下線を分離して中柱等との干渉を避けた。



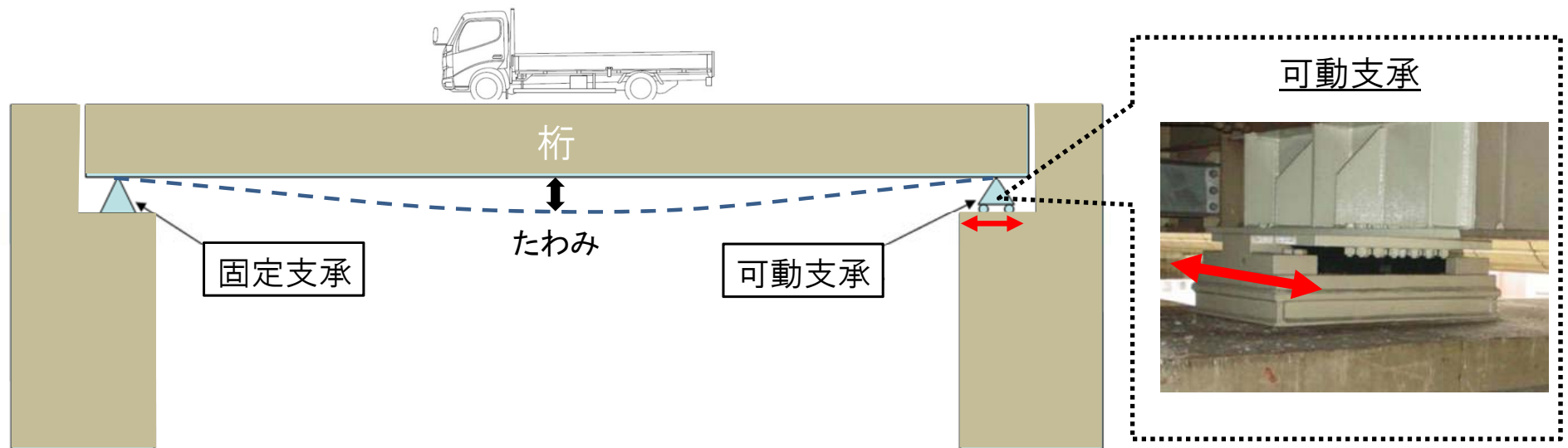
1930年代(白本橋)





## 揺れる首都高速のメカニズム

- 温度変化による桁の伸縮に対応するため、橋梁の片側は可動支承(台座)としている。
- 大型車が通過すると、桁がたわみ、上下に振動。
- 上り・下りが一体構造となっている区間で、片方向が渋滞している場合、揺れを感じやすい。



■上り・下りが一体構造となっている区間(3号渋谷線 渋谷～池尻付近)



揺れを感じやすい

